

ふくしま復興とソーシャルビジネスの役割

東北復興ソーシャルビジネスプロジェクトメッセ パネルディスカッション「ソーシャルビジネスが拓く東北の未来」

日時: 2013年3月3日(日: 雛祭り) 10時から17時
会場: 福島市アクティブシニアセンター「A・O・Z(アオウゼ)」



NPO法人うつくしまNPOネットワーク
事務局長 鈴木和隆
(福島県ソーシャルビジネス推進協議会(F-SB))
k-suzuki@xg8.so-net.ne.jp

福島県の被災地の“写真”

南相馬市小高区の牛舎



2013年2月1日現在

- ・人的被害(死者 2,831人 行方不明 5人)
- ・住家被害(全壊 20,801棟 半壊 70,421棟)
- ・鉄道 常磐線(広野町～原ノ町など、不通)
- ・農林漁業壊滅。警戒区域商工業者事業停止

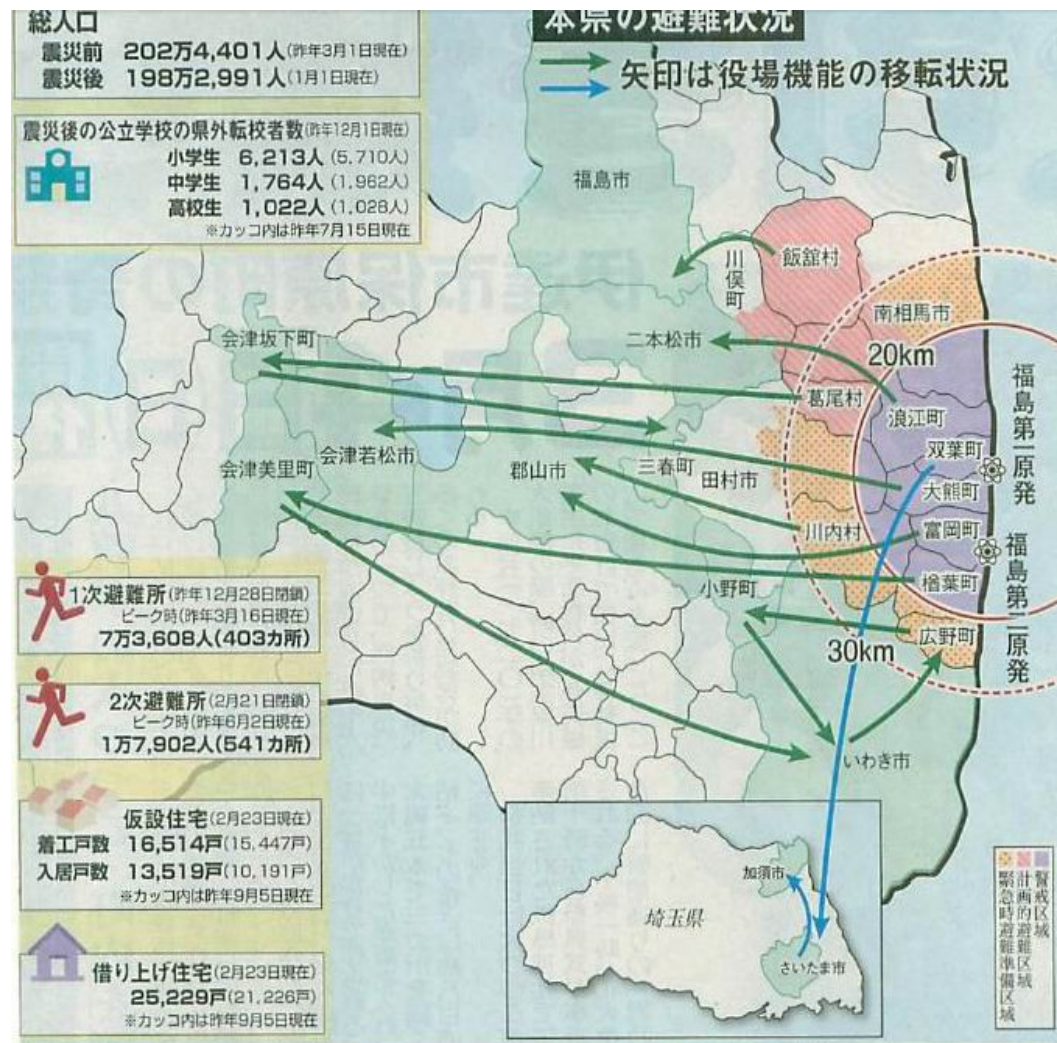
- ・県内応急仮設住宅等入居者数(92,334人)
(2013/2/21調べ)
- ・県外避難(57,135人)(2/7)

一全国46都道府県に避難、移住

- ・地震・津波・原発・風評・風化・消費の六重苦
- 一特に、原発事故の未収束・未解決・事故継続
- ・アネクメーネ(Anökumene)
- ・ディアスポラ(diaspora)

- ・低線量被曝、第4号機問題
- ・生活再建・事業再建に見通しが立たないこと
- ・避難・帰還を巡る「意見の対立・溝の深まり」
- ・風評被害、「差別」、無関心など
- ・「仮の町」と地域コミュニティの再生の難しさ
- ・法整備の遅れ

ふくしまを語る



出典：県紙「福島民報」（2012年3月2日）

SBフォーラム in いわきの開催(2月15日)

～ソーシャルビジネス(SB)が、福島復興・再生を牽引～

福島の、「先進地」、被災地・福島では、高齢化や人口の減少がこれまでよりも速いペースで進んでいます。農村農業などの第一次産業の復興も大いですが、地域の雇用を担ってきた地産地销や商店街が復興の度合いを深めています。教育・介護・医療など生活に密着する分野の存続も危惧されています。これらの課題は、これから10年の日本が直面しては逃れない課題でもあります。被災地・福島は、一足早く取り組むこととなります。日本の課題は先進地にもずから。

ソーシャルビジネス(SB)の出番です。「3.11」以前から、福島県はSBが活発な地域でした。福島の復興・再生の牽引役です。福島のSB、福島の未来を、一緒に盛り合ひましょう。

1	2
---	---



「福島の復興と食を考える」

本公司在2014年12月31日及2015年12月31日，均无或有负债。

鈴木 寛治 氏

1998年にゆきや市西倉庫に生まれ、株式会社を
表目けり市、株式会社4PLANNINGの
代表取締役を務める。日本大学経済学
部経済学部に在籍した上野の専攻分野のために、
他校の経済学部11校にジャッキー・エ
ンと名乗った「白鳥小隊」で就職先をめぐ
りながら、選考を受けた。それが「東洋水産
」で、ジャッキー・エンと名乗った上野の
生活化と事業化を志向した「市場調査
」が「市場調査」となり、西メディアに物
々しく取り上げられている。

パネルディスカッション

「ソーシャルビジネスで復興を支援する」



前立井建設株式会社 シニア人材部長
理事員

夏商周



イプロ内海企業組合

一、選擇題

株式会社アイエスエフネット
代表取締役社長 星 浩一

北京 中華書局



八木野郎店 代客取寄せ
なつかしき八木野郎店株式会社
専務取締役

河野通洋氏

2013年

2月15日(金)

13:00~17:30 (開講 12:30)

場所 いわき産業創造館 いわき駅前再開発ビル
「LATOV(ラトフ)」6F
T970-8026 福島県いわき市平字田町120番地

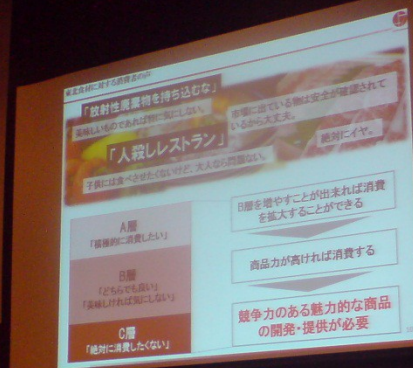
定員 200名 **先着順** **参加費 無料**

お買い合わせ

実行委員会 事務局：特定非営利活動法人うつくしきNPOネットワーク

住所: 〒963-8835 福島県磐南町小原田 2-19-19 E-mail: uketsuke@utsukushima-npo.jp
TEL: 024-953-6092 FAX: 024-953-6093 URL: <http://www.utsukushima-npo.jp/>

【主催】 株式会社社会福祉法人つくしネットPOネットワーク／一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク **【後援】** 新潟県庁、新井市役所
【協力団体】 いわき市、いわき市工業会館、むさし信用金庫、いわき商工会、福島県ソーシャルビジネス推進協議会、
社会連いのちのまちづくりネットワーク（公）、有限会社東洋フェニックス放送(SEA WAVE FM いわき)、いわきエッジンオフィスなど関係者、
NPO法人いわきIPOセンター、NPO法人ソーシャルデザイン・アカデミイ



福島は、「先進地」。被災地・福島では、高齢化や人口の減少がこれまでよりも速いペースで進んでいます。農林漁業などの第一次産業の疲弊も大きいです。地域の雇用を担ってきた地場産業や商店街が疲弊の度合いを深めています。教育・介護・医療など生活に直結する分野の存続も危ぶまれています。これらの課題は、これからの日本が避けては通れない課題でもあります。被災地・福島は、一足早く取り組むことになります。「日本の課題の先進地」なのですから。

ソーシャルビジネス(SB)の出番です。「3.11」以前から、福島県はSBが活発な地域でした。福島の復興・再生の牽引役です。福島のSB、福島の未来を、一緒に語り合しましょう。

SBフォーラム in いわきの成果

講師	話のポイント	成果
鈴木賢治さん (株式会社夜明け市場代表取締役)	故郷・いわき市四倉と家業の製氷会社の壊滅的な被害を目の当たりにして、継続的な支援活動を事業として始めることを決意した。 これからは、被災地・いわきと首都圏、全国、シアトルなど世界とも橋渡ししていきたい。	・「意義のある稼ぎ方」が大切 ・できるかできないかではなく、やるかやらないかが岐路
藁谷道弘さん (NPO法人シニア倶楽部理事長)	いわき市だけではなく、日本全体が超高齢化社会を迎える。シニアが主人公、シニアが楽しくという思いで、シニアによるシニア向けの事業を、みんなで分担して実施している。	・サービスの提供者と受給者が同じシニアであること、元気なシニアの力は大きいこと
湯澤良一さん (リプロ内郷企業組合理事長)	いわき市内郷には、国宝の白水の阿弥陀堂がある。この文化と古代米、地域の伝統的な野菜などを利用した薬膳料理・食を結びつけて、地域に密着した事業を展開している。	・地域資源(地域の人、食材、文化施設=寺院などを融合し、新しい価値を創出すること
渡辺幸義さん (株式会社アイエスネット代表取締役)	社会的企業を実現するために、障がい者を積極的に雇用し、ソーシャルファーム(20大雇用)を実践している。	・家族経営で「洗練されたホスピタリティ」を持つ人財を育成
河野通洋さん (八木澤商店代表取締役)	岩手県陸前高田市の工場・店はすべて流された。雇用を守り地域に根差し絶対復興させる思いで、被災以前よりも立派に復興させた。	・世の中を動かすためには、「自分事」で臨む心構えが重要

ソーシャルビジネス(SB)で いわきの復興を進めよう!

SBカレの、Sは太陽(SUN)と鳥(BIRD)のこと。SBフォーラムのSBは、ソーシャルビジネスのことです。社会問題の解決を事業の手法で取り組み、収益を一定程度上げ雇用などに結び付けていく事業体のことです。社会的企業とも言います。

東日本大震災と東電原発事故は、一気に、地域の社会問題を噴出させました。農林漁業や企業は再開できるの。人口の減少や高齢化がこれ以上進むと地域はどうなるの。子育てや医療・介護、買い物は、大丈夫なの。社会問題が山積みです。

そして、そのような社会問題は実は、日本全体の問題なのです。「3・11」で一足早く、直面しているだけです。「被災地・いわきは、日本の課題の先進地」なのです。いずれ日本という国が直面する課題です。

ソーシャルビジネス(SB)は、このような社会問題を創意工夫した経営手法で収益を上げなが

ら解決し、雇用を生み出し、より良い地域社会をつくることを目的としています。経済産業省の研究会は、SBの定義として、「社会性」「市場性」「革新性」があることとし、ボランティア活動や普通の会社と区別します。

東日本大震災と東電原発事故で激しい被害を被った福島・いわきの復興のためには、SBの活躍

するために「ソーシャルビジネスフォーラムinいわき」を開催します。日時は、今月15日(金)午後1時(開場同0時半)から同5時半、場所は、いわき産業創造館(ラトフ6階)です。無料です。

基調講演は、SBの実践者、株式会社夜明け市場代表取締役の鈴木賢治さんが、「福島の復興と食を考える」と題し、い

SBフォーラムinいわき (15日開催)参加者を募集

が欠かせません。いわきの社会問題に、どのように切り込むのか、SBへの期待は大きいのです。

いわきの復興・再生を牽引(けんいん)するSBの取り組みなどを紹介

が登壇します。

行政運営、企業経営、住民活動にもきつと役に立ちます。SBはやはり、被災地に希望をもたらす太陽と鳥なのです。

申し込みは、NPO法人うつくしまNPOネットワークII 電話024(953)6092、電子メール utsukushima-npo.jp までとなっています。

(実行委員・佐藤フロンス)

東北復興 ソーシャルビジネス フォーラムinいわき

～ソーシャルビジネス(SB)が、復興の復興・再生を牽引～



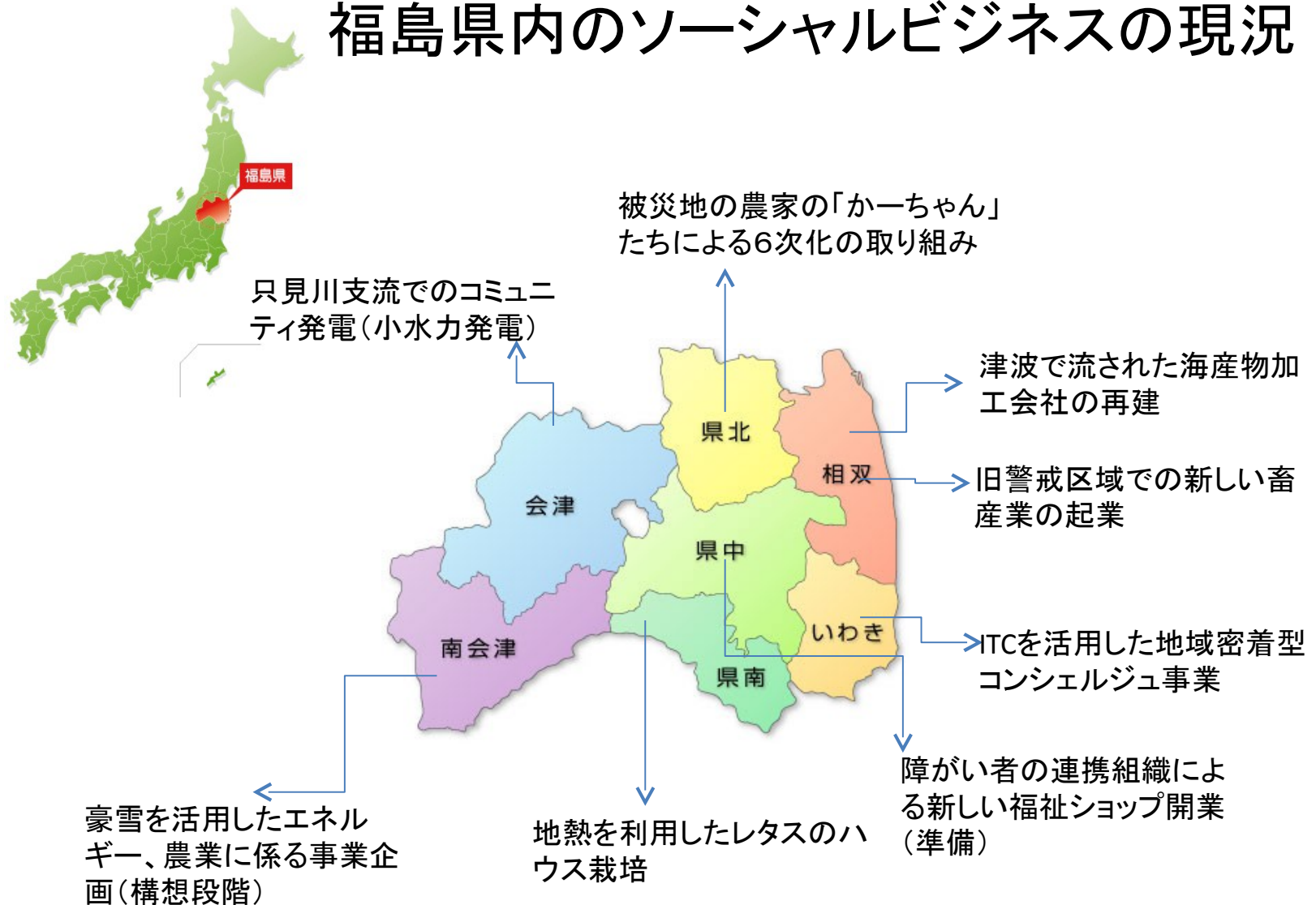
2013年
2月15日(金)
13:00-17:30 無料

200名先着順 無料

会場: いわき産業創造館(ラトフ6階) 入場券: 無料

お問い合わせ: 024-953-6092

福島県内のソーシャルビジネスの現況



「日本再生戦略～フロンティアを拓き、「共創の国」～へ」

(2012年9月2日閣議決定)を読む

11戦略をSBの視点から読み込むことで、SBの役割を再確認す

	戦略名	ポイント	SB等の役割
1	グリーン戦略	エネルギーの地産地消	地域プロジェクトによる発電とスマートコミュニティへ参画
2	ライフ成長戦略	バイオプロセス技術	新規有用微生物の探索とデータベース化
3	科学技術イノベーション・情報通信戦略	低線量放射線の健康への影響	放射線医学に関するふくしまイノベーションアリーナの提言
4	中小企業戦略	社会的企業／SB事業者	起業・経営支援などの高度化と法整備
5	農林漁業再生戦略	農業者の高齢化、担い手不足	新規卒業者、他業界、定年退職者の「卒業前」「退職前」就農支援
6	金融戦略	お金の地産地消	市民ファンドの組成など
7	観光立国戦略	国際的な着地型観光	日本丸ごと体験プログラムの開発
8	アジア太平洋経済戦略	経済・市場から、「人の交流」へ	アジアとの、インクルーシブな交流。アジア流NPO憲章の作成
9	生活・雇用戦略	生活困窮者の急増	SB版ハローワークの設立
10	人材育成戦略	大学とカリキュラムの再編	社会活動などの単位制。地域が支える大学制度(CSU)
11	国土・地域活力戦略	PFI／PPP	SB版少人数私募債の発行。空き住宅700万戸の活用

ソーシャルビジネスの課題

【SB事業者】

- ・「社会性」「事業性」「革新性」の適切な理解と「+α」の付加
- ・選択したSB事業分野についての専門的な知識と人的なネットワークづくり

【SB支援者】

- ・支援と支援者の「質」の向上：特に、「企業的な経営管理能力」という場合の、この内容のSB事業者向け再構築
- ・課題解決力（特に、私益に見えることを公益に変えていく力）
- ・資金集め（ファンドレイジング：fund-raising）に関する支援計画の立案
- ・「率先垂範」

【関係機関】

- ・ネットワーク組織（例えば、福島県ソーシャルビジネス推進協議会（F-SB））の充実とNW組織への支援
- ・SB事業者向けインキュベーター（施設）の開設・充実
- ・SB事例集の改定と事例選定の適切化

SB等の活動に係る資金提供の図

(SBプロジェクトメッセ資料)

企業など

2013年3月3日

託される資金 (主に、SB事業を構想している時期など)

- ・一般財団法人ふくしま未来づくりコミュニティ財団(FFF)
- ・公益信託うつくしま基金

■賛同者集め、地域活動など

拠出

課題

寄附を募つめる
／あつまる
仕組み

借りて返す資金 (事業スタート時期のSB)

- ・一般社団法人ふくしまNPOバンク(FNB)
- ・協同組織金融機関による融資

■設備投資(機械購入、事務所開設)など

課題

返済原資
の確保

課題

地域密着型
ファンド・
エンジェル
との付き合い

投資

出資を得て育てる資金 (事業拡充期のSB)

- ・ふくしま型投資事業有限責任組合(F-LPS)

■再エネルギー事業、農業などを担うSBなど

融資

助成金

NPO法人うつくしまNPOネットワークの活動

- 1, 福島県ソーシャルビジネス推進協議会(F-SB)の組織化と事務局の運営(東北ソーシャルビジネス推進協議会(T-SB)の理事)
- 2, ふくしまNPOインキュベーションセンター(FNIC)の開設(起業予定者、アーリーステージのSB起業者が入居)
- 3, SB事業者へのハンズオン支援
- 4, 融資事業(一般社団法人ふくしまNPOバンク(FNB)と県内の4つの信用組合との共同事業)
- 5, 助成事業(一般財団法人ふくしま未来づくりコミュニティ財団の設立: 構想段階)
- 6, 社会的企業(ソーシャルエンタープライズ)に係る調査・研究

まとめ

1. 福島（“フクシマ” “FUKUSHIMA”）はまだ、地震・津波・原発・風評・風化・消費の六重苦が続いていること。
2. 被災地域の復興・再生には、ソーシャルビジネス（SB）が有効であること／期待されていること。
3. ソーシャルビジネス（SB）で、地域資源（お金、人材、食料、エネルギーなど）を地域で回し、地域の自立・自律と適切なガバナンス実現させていくことが大切であること。
4. 支援する・支援される関係の向こう側に、次の時代を創造する「輪」を創りだすこと



**福島（“フクシマ” “FUKUSHIMA”）の問題は、
日本の問題、世界の問題であること。**